

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地下水汚染対策事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課					
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造			主管課長	染谷 忠美				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	井戸所有者	意図	地下水の環境基準の適合
事業内容	井戸の水質分析調査を実施し、所有者に結果を報告する。 地下水汚染の現状を把握して早期対策に結びつける。			
事業開始から現在までの状況変化	当初は、調査井戸数が多かったが、汚染状況範囲が判明したことから対象井戸が12箇所に減少している。 自然由来でトリクロロエチレンが基準値超過箇所もあり、継続して観測している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		水質調査井戸数	12	12	9	箇所	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・井戸水利用の減少 ・水質汚染への関心の高まりから、今後も継続して実態把握に努める。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,759,800	4,521,000	3,654,150			
事業費（b）（円）		214,200	214,200	160,650			
うち一般財源		214,200	214,200	160,650			
職員給与費(c)(円)		4,545,600	4,306,800	3,493,500			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る
今年度(H25)に実施した取り組み	事業の必要性や効率性について検証を行った

取り組みの課題	必要性や効率性の検証
今後の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る